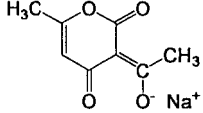
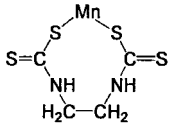
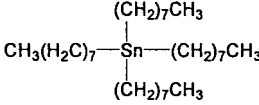
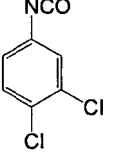
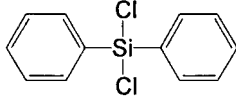
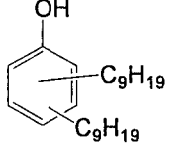
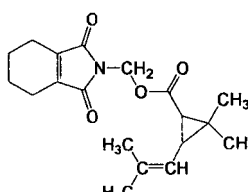
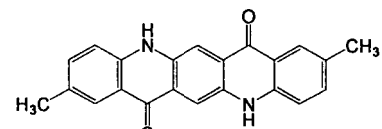
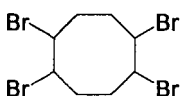
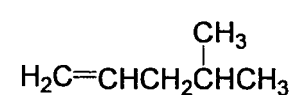
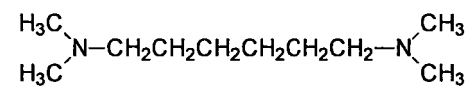
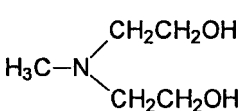
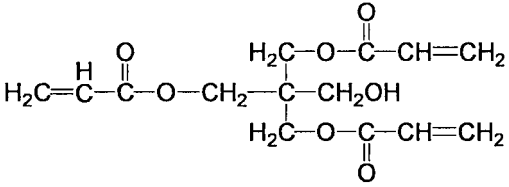
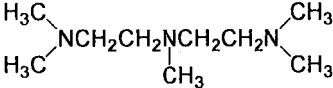
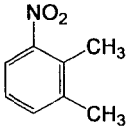
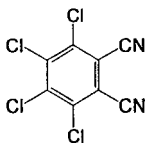
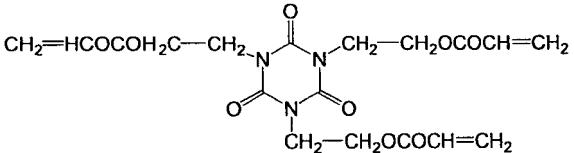
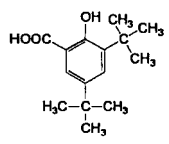
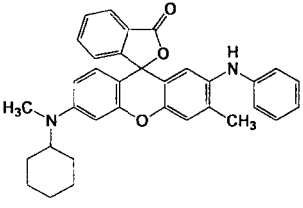
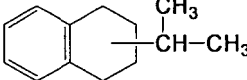
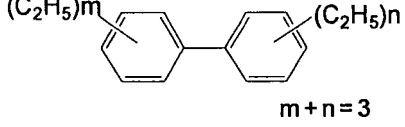


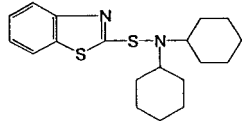
## 平成17年9月 既存化学物質点検(分解・蓄積)結果資料 (第47回審査部会)

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1625	3-アセト-6-メチル-2-ピロノンナトリウム塩 (4418-26-2) 5-0676 	BOD: 77, 77, 77 (77) TOC: 99, 99, 99 (99) HPLC: 100, 100, 100 (100)			良分解性	なし
683B	[[エチレンビス(カルバモジチオアト)](2-)] マンガン (12427-38-2) [PRTR 1-49] 2-1841 	BOD: 1, 1, 0 (1) HPLC: 100, 100, 100 (100) 被験物質は変化し、2-イミダゾリジチオン、1,2-エチレンビスジチオカルバミン酸及び1,3,6-チアアジアゼピン-2,7(3H,6H)-ジチオンを生成し、残留した。	有機金属のため適用外		難分解性	被験物質は全量変化し、変化物の一部が未同定のため今後検討
1427	テトラオクチルスタンナン (3590-84-9) 2-2270 	BOD: 3, 3, 0(-2) (2) HPLC: 0, 1, 3 (1)	有機金属のため適用外		難分解性	濃縮度試験
1496	イソシアン酸-3,4-ジクロロフェニル (102-36-3) 3-2489 	BOD: 0(-1), 0(-4), 0(-2) (0) HPLC: 100, 100, 57 (86) 被験物質は変化して、3,4-ジクロロアニリン及び3,3',4,4'-テトラクロロジフェニル尿素を生成し、残留した。	3.88*1		難分解性	被験物質は全量変化し、変化物の一部が未同定のため今後検討
1640	ジクロロジフェニルシラン (80-10-4) 3-2634 	BOD: 0, 0(-1), 0 (0) GC: 100, 100, 100 (100) 被験物質は加水分解し、ジフェニルシランジオールを生成し、残留した。	5.06*1		難分解性	変化物(ジフェニルシランジオール)の分配係数試験
1648	ジノニルフェノール (1323-65-5) 3-0526 	BOD: 2, 1, 2 (2) HPLC: 35, 11, 46 (31) 被験物質は汚泥へ吸着することが認められ、汚泥からの脱着が困難であった。	10.47*1		難分解性	濃縮度試験

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1672	<i>N</i> -(3,4,5,6-テトラヒドロフタルイミド)メチル-D,L-シス,トランス-クリサンテメート (7696-12-0) 9-0839 	BOD: 4, 0, 1 (2) HPLC: 41, 33, 32 (35) 一部加水分解して、2,2-ジメチル-3-(2-メチル-1-プロペニル)-シクロプロパンカルボン酸(シス,トランス体)及び <i>N</i> -ヒドロキシメチル-3,4,5,6-テトラヒドロキシフタルイミドを生成し、残留した。	5.54* <sup>1</sup>		難分解性	濃縮度試験
1703	2,9-ジメチルキナクリドン (980-26-7) 5-1168 	BOD : 0(-3), 0(-3), 0(-4) (0) 重量法 : 6, 4, 0 (3)	2.47* <sup>1</sup>		難分解性	被験物質を溶解する溶媒がないため今後検討
1715	1,2,5,6-テトラブロモシクロオクタン (3194-57-8) 3-2254 	BOD : 0(-16), 2, 0(-1) (1) G C : 1, 0, 1 (1)	5.24* <sup>1</sup>		難分解性	濃縮度試験
899A	4-メチル-1-ペンテン (691-37-2) 2-0022 	BOD : 0, 1, 3 (1) G C : 3, 1, 2 (2) 判定結果 難分解性 (H14年 1月 29日)	3.38 (フラスコ振とう法)	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1255	<i>N,N,N',N'</i> -テトラメチルヘキサメチレンジアミン (111-18-2) 2-0156 	BOD : 1, 2, 0 (1) TOC : 0, 0, 0 (0) G C : 0, 0, 0 (0) 判定結果 難分解性 (H9年10月28日)	2.10 (pH12) (フラスコ振とう法) 1.70* <sup>1</sup>	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1265	<i>N</i> -メチルジエタノールアミン (105-59-9) 2-0300 	BOD : 22, 0, 0 (7) TOC : 60, 5, 5 (23) HPLC: 65, 6, 4 (25) 判定結果 難分解性 (H9年7月30日)	<0.5 (pH9.6) (HPLC法) -1.50* <sup>1</sup>	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1278	トリアクリル酸ペンタエリトリール (3524-68-3) 2-1003 	BOD: 17, 6, 12 (12) HPLC: 95, 76, 83 (85)  入手試料は変化し、モノアクリル酸ペンタエリトリール、ペンタエリトリール(難分解性、高濃縮性でない)及びアクリル酸(良分解性)を生成した。アクリル酸は分解し、被験物質、不純物のジアクリル酸ペンタエリトリール、トリアクリル酸ペンタエリトリールモノカルバルデヒド及び変化物のモノアクリル酸ペンタエリトリール、ペンタエリトリールは残留した。 判定結果 難分解性 (H11年4月27日)	1.1 (HPLC法)  0.91*1	分配係数から類推(被験物質のlog Powは1.1。モノアクリル酸ペンタエリトリールは被験物質より極性が高い。ペンタエリトリールは高濃縮性でない判定済み。)	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1379	N-メチル-N,N-ビス(2-ジメチルアミノエチル)アミン (3030-47-5) 2-0147 	BOD: 0, 0, 0 (0) TOC: 0, 0, 1 (0) G C: 0, 1, 1 (1)  判定結果 難分解性 (H12年7月26日)	0.04 (pH12) (フラスコ振とう法)  -0.57*1	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1450	2,3-ジメチルニトロベンゼン (83-41-0) 3-0399 	BOD: 0, 0, 0 (0) HPLC: 0, 0, 0 (0)  判定結果 難分解性 (H13年3月27日)	2.85 (フラスコ振とう法)  2.83*3	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1481	テトラクロロフタロニトリル (1953-99-7) 3-1783 	BOD: 2, 0, 0 (1) HPLC: 0, 0, 0 (0)  判定結果 難分解性 (H12年6月21日)	3.00 (フラスコ振とう法)	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし
1597	トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸アクリル酸エステル (40220-08-4) 5-1060 	BOD: 24, 0, 12 (12) TOC: 44, 16, 49 (36) HPLC: 100, 53, 100 (84)  被験物質は試験液中で変化し、被験物質より極性が高いトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸、トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸モノアクリル酸エステル及びトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸ジアクリル酸エステルが残留した。 判定結果 難分解性 (H14年5月29日)	1.9 (HPLC法)	分配係数から類推(被験物質のlogPowは1.9。変化物はいずれも被験物質より極性が高い。)	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1650	3,5-ジ- <i>tert</i> -ブチルサリチル酸 (19715-19-6) 3-3034 	BOD: 0, 0, 0 (0) HPLC: 0, 2, 0 (1)  判定結果 難分解性 (H15年5月20日)	6.06*1	1区: ≤2.4~4.1 2区: ≤23 脂質含有率 開始前 3.38% 終了後 3.02%	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし
1655	3-( <i>N</i> -シクロヘキシル- <i>N</i> -メチルアミノ)-6-メチル-7-アニリノフルオラン (55250-84-5) 5-3631 	BOD: 0(-8),0(-6),0(-3)(0) HPLC: 0, 0, 0 (0)  判定結果 難分解性 (H15年6月20日)	8.60*1	1区: 2400 2区: 2500 脂質含有率 開始前 2.58% 終了後 3.80%	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし
1714	イソプロピルテトラヒドロナフタレン (26916-60-9) 4-0577 	BOD: 3, 2, 1 (2) GC: 0, 0, 0 (0)  判定結果 難分解性 (H16年3月17日)	5.28*1	ピークA 1区: 2000 2区: 1400 ピークB 1区: 2000 2区: 1900 脂質含有率 開始前 3.43% 終了後 3.85%	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし
264C	トリエチルジフェニル (42343-17-9) 4-0016 	BOD: 0, 0, 0 (0) GC: 5, 1, 1 (2)	6.87*1	ピークA 1区: 2400 2区: 5800 ピークB 1区: 1100 2区: 1600 ピークC 1区: 1800 2区: 5300 ピークD 1区: 1400 2区: 1400~3700 ピークE 1区: 790 2区: 1300  開始前 3.30% 終了後 4.73%	難分解性 高濃縮性	なし

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)
1231	<i>N,N</i> -ジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾリルスルフェンアミド (4979-32-2) 5-0526 	BOD : 0, 0, 0 (0) HPLC: 4, 6, 0 (3) 判定結果 難分解性 (H7年3月24日)	4.80以上 (フラスコ振とう法)	脂質含量 1区: 15~ 80 3.9% 2区: 74~ 316 3.9% 3区: 331~ 916 4.0% 4区: 1150~3950 4.0% 5区: 3380~7310 3.7% 6区: 6000 開始前 2.58% 終了後 2.10%	(難分解性) 高濃縮性	なし

- \*1 Kowwin v1.66 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値
- \*2 The Physical Properties Database (Syracuse Reserch Corporation)による実測値
- \*3 Deneer, JW et al. (1987)による実測値

[実施機関] K-683B 株式会社 三菱化学安全科学研究所  
 K-1625, 1640, 1648, 1672 株式会社 日本医学臨床検査研究所  
 上記以外 財団法人 化学物質評価研究機構